

『小さな星～イスラマバードの友人が言ったこと～』

1

作詩：覚 和歌子

渡部：家族があるのはいい

手をつなごうとするまえに

血は温かく結ばれている

A：それは無条件の心強さ

離れていても感じていられる

それは君にいつもゆめそう

見えない味方のこと

渡部：子どもは多いほうがいい

B：どんな子どもも未来だから

つい抱きしめてしまうのだ

C：取っ組み合いのどんがらがっちゃん

はしゃいでいるのか

泣きわめいているのか

区別がつかない大声が 今日も

いのちの車輪を回してくねる

渡部：貧しい暮らしはいい

B
.. たった一枚のナンを

しみじみ味わうよろこびを知るから

D
.. 分け合ったかなしみから

やさしさが はぐくまれ

分け合ったほほえみは

思い出という心の糧として

てごわい旅路を食いつながせてくれる

渡部.. だから君も家族を作れ

愛する人とともに

愛するものを

小さな星の地上にふやせ

配分

ABCCDの4名の方